





今年七月から始まった WEBSKY の導入プロジェクトはまず、新業務ルールの骨格を作ることから始まった。各組織と機能を整理し、新しい業務ルールが考案された。WEBSKY の導入は、会社全体の業務効率向上と不可分

中国では、現地の商慣習に対応、日中二カ国語で利用可能になってくる。不二工機では、とりわけ MRP (Manufacturing Resource Planning) に期待が高い。生産計画に基づき、必要資材量と同時に部品注文情報、工程能力情報を分析、実行可能な製造計画の立案を支援する。製造、倉庫、財務部門などで、バラバラに管理していたデータを一元化、生産管理業務が透明化される。更に帳票の作成まで可能だ。

進んでいる工場はまだ極めて少ない。「とにかく手探りで生産し、出荷に間に合わせるのが精一杯」というのが現実だという。工場の多くは、発注部品管理、在庫管理で悩んでいる。世界シェア八〇%を誇り、自動車部品メーカーからの厳しい要求に応える不二工機であってこそ、迅速なシステム導入を決断したと言えるだろう。

**「WEBSKY」で新たな業務ルール確立、生産業務を透明化**  
WEBSKY は、日本では既に数千を超える導入実績をもつ GEMPLANET をアップグレードし、インターネットの WEB サイトと同じ方式で、生産管理情報を一元化、共有出来るシステムだ。長年、日本で有効性が実証済みのシステムであり、カスタマイズも極めて少なく済む。

**「WEBSKY」販売に情熱注ぐ 日立の若きスタッフ達**  
日立の中国ビジネスは、社会公共分野では、新幹線、発電所建設など、急速に進む中国の経済インフラの整備により、大きな実績と可能性を持っている。一方、産業分野での IT システム関連の販売についてはこれからという段階であるが、不二工機の実績を契機に、勢いをつけた

の関係にある。蘇州工場のプロジェクト導入責任者である田口吉和・経理部長は、「経理部長と購買責任を兼務し、生産品目が急激に増加、このままでは無理だと頭を抱えていました。WEBSKY 導入で生産管理能力が飛躍的に向上します」と、一二月一日のシステム運用開始に向け、最終段階に入ったシステム導入に全力をあげる。



日立・ERP 部第2課長 米家信行氏



**お問い合わせ先**  
日立情報システム（上海）有限公司  
上海市茂名南路 205 号瑞金大厦 2401 号  
Tel(021)6473-1244 (内線 107) Fax(021)5456-2339  
E-mail: websky@hiss.cn http://www.hiss.cn

いというのが狙いである。実際、日立の中国現地法人である日立情報システム（上海）有限公司では、不二工機に続き、販売開始半年で日系企業二件の受注が決まり、代理店を通じて中国企業三件を受注。さらなる利用ユーザーの拡大を進めている。入社六年目である日立情報システム（上海）有限公司の米家信行・ERP 部第二課長は、「日本より中国での仕事の方が面白い。営業からシステム導入まで、すべて体当たりです。後発ですが、これから追いつけます」と、語る。エネルギー効率を高める不二工機のエアコン制御部品と、生産管理の透明化に貢献する日立の「WEBSKY」が、「世界の工場」と言われる中国で、急速に普及する日は近いかもしれない。